

## 事例 2-4-7：会宝産業株式会社

### 中古自動車部品の需要者・供給者の情報共有で取引方法を変革した企業

石川県金沢市の会宝産業株式会社（従業員78名、資本金5,700万円）は、使用済自動車の解体等の自動車リサイクル事業や、中古自動車部品の販売事業を手掛ける企業である。同社では、輸出が売上の約7割を占めており、その取引先は、71の国・地域に及ぶ。

同社の国内外との幅広い取引を支えているのが、「KRA（Kaiho Recycler's Alliance）システム」と呼ばれる中古自動車部品情報管理システムである。このシステムでは、使用済自動車の査定から、仕入、生産、販売までの過程や、在庫、品質、原価といった部品の情報を一元的に把握し、管理することができる。情報管理を進めることで、需要側と供給側の交渉で、部品一山の価格を決めていた従来の取引方法を変え、適切な仕入価格・販売価格の設定が可能となった。その結果、部品の購入事業者だけでなく、供給事業者からも信頼が得られている。

国内外の取引先もこのシステムを導入することで、同様の管理を行うことができる。システムを導入した取引先とは、部品在庫の共有や、統一された品質基準の利用をすることができ、関係を強めている。

また、人気の高い部品は需要が多く、調達力を高める

ことが重要となるが、同社では、国内の自動車リサイクル業者と連携し、対応している。同社が、輸出手続や代金回収を担い、提携先は、部品の調達、品質確保に注力することで、連携の効果を上げている。

現在は、社内サーバ内の管理システムに、システム参加者が、インターネット経由でアクセスしているが、今後はクラウド化して、運営コストを下げることが検討されている。



中古部品の倉庫

## 事例 2-4-8：日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会

### ネットワークシステムで運送を効率化する中小運送事業者のための取組

日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会（本部・大阪府大阪市）は、1,600超の中小運送事業者が所属する122の協同組合で構成される全国規模の連合組織である。1990年以降の運送区域等の規制緩和により、競争が厳しくなることが懸念されたことを背景に、大阪府、兵庫県の運送事業者により、1991年に設立された。

同会は、全国の中小運送事業者が、仕事を融通し合い、運送を効率化する求車求荷システムを運営している。顧客から問い合わせがあった仕事に対応するため、引き受ける他社のトラックを求める（求車）荷物の情報、復路で運ぶ荷物が少ないなどによって、荷物を求める（求荷）トラックの情報がリアルタイムで表示され、中小運送事業者は、このシステムの利用により、空荷トラックを減らすことが可能となった。

同会では、運送事業者間の連携を円滑にするための取組も行っている。仕事の融通のためには、事業者間の信頼関係の構築が必要不可欠であり、研修や交流会での情報交換等の機会を設けている。



荷物積み込みの作業風景